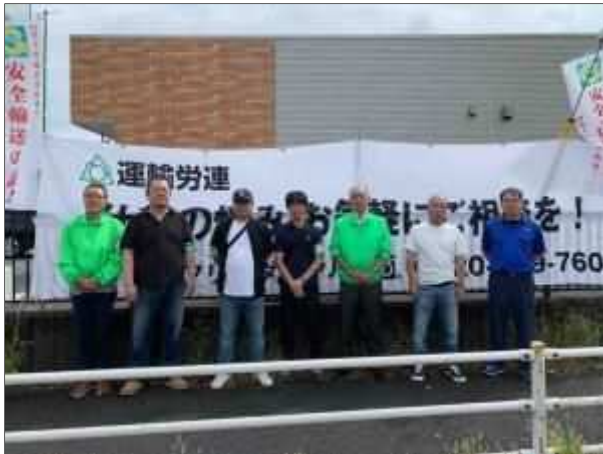


第117回 運輸の日

日時 2019年10月08日(火)10:30~15:00

場所 東神トラックステーション

行動者 小久保 誠 (日通湘南物流労働組合)・萩原 弘達 (日新労働組合)・古越 健之 (日通湘南物流労働組合)・西井 英勝 (ヤマト運輸労働組合厚木支部)・三葛 智也 (ヤマト運輸労働組合横浜支部)・鈴木 政男 (SBS フレイトサービス労働組合)



東神トラックステーションにて、『第117回運輸の日』を実施。今回は、湘南地区連絡協議会のメンバー6人での行動になりました。

午前中は駐車スペースに余裕がありましたが、昼近くにはあっという間に満車になりました。停車できないドライバーさんは、気の毒に通り過ぎるしかない状況でした。

本日は、「有給休暇取れますか？」という設問と仕事での悩みなどを聞きながら『安全への呼びかけ』を行いました。かなりのドライバーさんが取れるとの答えでホッとした一面も、ドライバーさんより事務職の方が取れてない状況を話してくれました。

行動者の感想



小久保 誠

東神トラステは、毎年満車状態です。ほぼほぼ仮眠中のドライバーです。

今回は、有給休暇について質問をしましたが、取れるとの答えは少なく、ほとんどの方が有給休暇を理解していないと感じました。残念!です。

併設するセブンイレブンは、他の店と違う特徴に気がつきました。ドラックストアーまでは行きませんが洗剤、入浴用品、タオル下着が豊富でオーラルケア商品の種類の多さには驚きました。それだけこの東神トラステで車中泊をするドライバーが多いのでしょうか。こんなに苦勞して日本物流を支えるトラックドライバーの賃金が安く、社会的地位が低いのがとても悔しいです。



萩原 弘達

お話を聞かせていただくと意外にも有給休暇を取得出来るよ!との答えが多く、以前に比べるとマスコミ報道等でされているようにドライバー不足からの労働条件の改善が行われているんだなあ~と思いました。よくよく話を聞いてみるとそれは有給休暇の取得ではなく普通の休みの話であり会社自体に有給休暇の制度すらない会社もチラホラあり以前として業界全体の職場改善はなかなか進んでいない現状を目の当たりにしました。気持ちよくアンケートに答えていただく運転員さんにはやはり職場の問題を聞いてほしいのか処遇等についての苦勞されているところや、業界全体の問題点を一所懸命話される方もおられて、改めてこの運輸の日における組織拡大行動やアンケート調査の必要性を感じる 1 日になりました。



西井 英勝

運輸で働く仲間の『職場環境のアンケート』や『悩み事』が無いのかを聞いてきました。特に今回は、有給は取得しているかなどを聞いた所、まだまだ取れない会社や、有給の意味さえも分かっていない方など、多くの会社が企業の責任を果たしていないなと思いました。私たちがやるべき事はまだまだ沢山あると思います。今後も組織拡大を通して運輸業界の働く仲間為に活動して行く必要があると感じました。



古越 健之

今日も東神 TS にて有給取得についてのアンケートを実施しました。暑い中トラックはたくさん駐車していましたがほぼカーテンが閉まってなかなか話せませんでした。その中少数ではありましたが話を聞け、半分くらいの方は有給がなかなか取れない状況のようでした。中には有給を取ると給料が下がるからという方もいました。きちんと有給の意味を皆さん知ってもらわなければいけないと思いました。



三葛 智也

『有給がしっかり付与されてるか?』『取得出来るか?』の調査をしました。大きな会社はしっかり付与されていましたが、中小企業は、有給はありますがなかなか取れない、使うときは病欠でという方もいました。全体的には有給のことは理解されていますが実際には計画的には取れにくい現状が浮き彫りになりました。敷地内は満車が続き、誘導の人がいれば危険リスクも減りますしスムーズな駐車出来るかと感じました。



鈴木 政男

15 人のドライバーと話す事が、出来 30% ぐらいのドライバーが取れている。取れていないが 50% で、残りの 20% が有給休暇を認識して居ませんでした。取る取らないの前に会社に有給休暇の事を認知指せる方が先かな。今日の事とは、別で、以前の組織拡大会議の時、トラックの周りにゴミが放置されているという意見が出ていましたが、今日は、それ程ではなかった様でした。放置「ZERO」をドライバーに伝えるのも組織行動のひとつなのかな